

文化財防火運動

1月23日～1月29日

守りたい



第54回

湖南広域消防局

防火ポスター展

《金賞》

立入が丘小学校 窪田 さくらさん

1月26日は、法隆寺金堂壁画が焼損した日（昭和24年）にあたり、消防庁と文化庁がこの日を「文化財防火デー」と決めました。湖南広域消防局においても、文化財防火運動を実施し、貴重な文化財を火災や震災、その他の災害から保護するとともに、住民の文化財愛護思想の普及高揚を図ることを目的として、国民共通の財産である文化財を後世に継承するために取り組みます。

文化財防火運動

1月23日～1月29日

「1月26日：文化財防火デー」

～貴重な文化財を火災から守るために～

《 文化財防火チェックシート 》		日頃からチェック→	○	×
放火防止		夜間には門灯を点灯させておく、センサー付き照明器具などを設置しているなど、放火防止対策に心がけている。		
		建物のまわりに、落葉、新聞やダンボールなど燃えやすいものを置かないよう心がけている。		
防火対策	火気を取り扱う祭事において、消火器や水バケツ等、消火準備をしている。			
	消防用設備等（消火器・自動火災報知設備等）の点検を実施している。			
	消火器・消火栓等の使い方を把握している。			
		住宅用火災警報器の自主点検を実施している。		
		電気配線などの不良箇所は直ちに改修している。		
増改築前に消防署と事前協議を行っている。				
地震対策	石油ストーブやコンロなどの火気使用器具は、地震の揺れで停止する安全装置を備えている。			
	感震ブレーカーを設置している。		 バネ式	
	ろうそくや線香などは、地震で転倒しないように措置している。			
	震災時に消火栓等が使用できない場合の代替措置を講じている。			 おもり玉式
	震災に対処するために建物の点検を行い、危険箇所を改善している。			
協力体制	火災などの災害発生時には、近隣住民の方々による地域での協力体制ができている。			
	仏像・重要物件の搬出方法を定めている。			
	近隣住民と連携した初期消火訓練や重要物件等の搬出訓練を、定期的実施している。			



湖南広域消防局